

市数研だより

令和5年8月10日発行 NO. 2 熊本市中学校数学教育研究会

7月の定例会が7月13日（木）に熊本大学教育学部附属中学校で行われました。今回は参集のみでの開催となり、7月末に行われた九州算数・数学教育研究大会に向けた役員打ち合わせや授業づくりなどが行われました。

1. あいさつ

市数研会長（花陵中学校 田口校長先生）

本日はたくさんの先生方にお集まりいただき、ありがとうございます。突然ですが、先生方の中には東京スカイツリーに登られた経験がある方がいらっしゃると思います。スカイツリーの形は、足元は三角形ですが、それをそのまま上に伸ばすのではなく、実際には途中から丸くなっているそうです。そのため、左右対称に見える場所は3ヶ所しかなく、少し横にずれるだけで形が変わって見えます。場所によっては傾いて見えたりもするそうです。そういう不思議さを秘めている所がスカイツリーの魅力であり、数学の魅力も同じことだと言えます。見方によっては、または視点を変えてみると、いろいろなことが見えてきます。数学はそこに魅力があるのではないかと思います。ぜひこの視点を数学教育に取り入れたいものです。本日は九州数学教育研究大会前最後の定例会です。中国の故事成語に画竜点睛という言葉があります。これまでに懸命に研究を重ねてきた我々の竜の最後の瞳を描き入れる時がきました。先生方よろしく願いいたします。



2. あいさつ

県数研会長（帯山中学校 桃崎校長先生）

皆様にお礼を言いたく、今日この場をお借りしました。九数教大会に向けてのこれまでの授業づくり、研究そして運営、本当に大変だったと思います。その大会もあと2週間あまりで行われる時期までやってきました。私は九数教大会の思い出がたくさんあります。平成10年の大会では、授業者でした。平成18年の大会では、市数研の研究部長で、授業づくりの主査を行い、毎日のように午後は各学校の授業研究会に出向いて授業づくりを一緒に行いました。平成26年の大会では、白川中の教頭として、会場校となった白川中に、皆様を招く形で大会を行いました。今回の大会は、県数研の会長として迎えることとなり、本当に自分自身と九数教大会は関係があるなと思いました。たくさんの経



験の中で1番の財産は、研究や授業づくりをしていたときの仲間です。今、先生方も研究や授業、運営などの準備を行っていると思います。目標に向かってやっている仲間を大切に、熊本の数学教育を盛り上げていただけたら、最高だと思います。そんな大会になるように、皆さんで力を合わせて頑張っていきましょう。

3. 九州算数・数学教育研究大会の役員打ち合わせ・授業づくり

多くの先生方に熊本大学附属中学校に来ていただき、最終打ち合わせを行いました。



4. まとめ

市数研副会長（天明中学校 榎木校長先生）

今日も長く協議や準備をしていただき、ありがとうございました。積み上げをしていくことで、最後はここまで高まるものだなと実感しました。指導案や各部会の情報を聞きましたが、いろいろな人がたくさんの知恵を出し合い、サポートし合うと、こういう所まで出来上がるのだと改めて実感しました。残りわずかですが、最後まで皆さんの力が必要になります。力を合わせていい研究大会になるように頑張りましょう。



5. お知らせ

次回の定例会は、**9月7日(木)19時～ 花陵中学校**です。

九州大会の反省、熊本市授業研究会の指導案検討を行います。

実施方法については、改めてご連絡いたします。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

kurebayashi.shusuke@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 西山中学校 紅林 周佑